

# 助け合いも平等へ

## —社会と共にある医療機関—

2021年の第204回通常国会において改正障害者差別解消法が成立し、  
民間事業者においても合理的配慮が法的義務化されます。  
障がいを抱える人もそうでない人も、お互いがその人らしさを認め合いながら  
共に生きる社会をつくっていくことを目指しています。

Plus Heart Action



われわれ伯鳳会グループは、  
職員一人ひとりが同法改正の理解と合理的配慮を実践しながら、  
内外にその活動を発信することで、  
地域社会とともに切れ目のない共生社会の実現を目指します。



伯鳳会グループ  
HAKUHOKAI GROUP

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

「平等医療、平等介護」の伯鳳会グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

## 【医療従事者の本音】

### 「医療だけでは限界がある」

そう感じているからこそ、常に全力で命と向き合っています。

それでも、患者様が病院の外へ一歩出ると、日常生活を十分にサポートすることができません。

困っていても誰に助けを求めていいか分からない人もいます。

手助けに間違いなんてありません。声をかける、寄り添う、これだけでもいいんです。

サポートしてくれる人がいるとわかるだけで大きな安心につながります。

まずはあなたから、助け合いの気持ちを表明していただけませんか？



ご賛同いただける方はマスクに  
♥を描いてください。

困っている方が安心して過ごせる  
社会づくりにご協力をお願いいたします。

青いハート



= 信頼・調和・揺らぐことのない愛

## INFORMATION

様々な疾患、障がいがあり、それに関連するマークが掲げられています。その中で、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方のマークとして「ヘルプマーク」があります。今回は目に見えないからこそサポートが難しいヘルプマークについて調査しました。

「適切なサポートができる  
自信がない」と回答したのは

77.9%



93.9%の人が「どのようにサポート  
したら良いか分からない」



調査概要 WEBアンケート調査 対象者:全国・男女・20歳から69歳 n数:1000名 期間:2021年7月1日(木)~7月5日(月) アンケート調査元(株式会社ネオマーケティング)

### 「サポートしたい」けど「どうサポートしたら良いか分からない」

これはヘルプマークの有無に関わらず、様々な困っている人を見かけた時に抱く普遍的な悩み。そんな声を受けてかんたんにサポートの気持ちを表明できるこのマスクが生まれました。手助けに間違いなんてありません。まずは声をかける、寄り添うことから始めませんか？

見ておめふりは、もうやめた。  
誰ひとり取り残さず「誓」いてこに。

#青いハートがあふれる社会を

誰もが自然とサポートし合える社会をつくるため、年齢や立場、障がいの有無を問わず、以下のような皆様の本音を募集いたします。

・助けられた経験談やお礼のメッセージ ・実は足りていないサポート ・サポートしたい気持ちや想い など

SNSでの投稿時やシェアをする際に、「#青いハートがあふれる社会を」や♥を付けていただくことで、投稿を収集し、その一部を当サイトで掲載。サポートの形を分かりやすく示しながら、助け合いの架け橋になることを目指します。



伯鳳会グループ  
HAKUHOKAI GROUP

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

プラスハートアクション search

<https://plus-heart-action.com/>

「平等医療、平等介護」の伯鳳会グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。